

かかりつけ医を持ちましょう



小さいお子さんがいるご家庭は、急な病気やけががよくあるもの。そんなとき、病気、予防接種、健診など何でも相談できる小児科の「かかりつけ医」を持つと安心です。病気やけがの際は、症状が軽いうちに早めの受診を心がけましょう。

赤ちゃんのかかりつけ医って？

妊娠中に、産科医から小児科医の紹介を受けるなどしましょう。赤ちゃんが熱を出した時など気軽に診てもらえるように、かかりつけの小児科医を探しておくで安心です。

かかりつけ医を探す

医療ネットみえ

かかりつけ医を探すときは、三重県の「医療ネットみえ」を参照してください。
URL <https://www.qq.pref.mie.lg.jp/>
携帯 <http://www.qq.pref.mie.lg.jp/k/>

「かかりつけ医」の診察が難しいとき

三重県救急医療情報センター
24時間 365日
059-229-1199

休日、夜間などで「かかりつけ医」の診察が難しいときは、診察可能な最寄りの医療機関をご案内しています。また、「医療ネットみえ」の救急医療情報のホームページや通話料無料の音声案内で調べることもできます。
☎ 0800-100-1199

みえ子ども医療ダイヤル
19:30~翌8:00 365日
#8000
059-232-9955

※ダイヤル式・ひかり電話・IP電話など子どもの急な病気・けがのとき、小児科医等に電話で相談することができます。

市内の当番医院は、毎月、『広報かめやま』16日号でお知らせしています。

かめやま・安心めーる

「かめやま・安心めーる」は、あらかじめメールアドレスを登録していただいたスマートフォンやパソコンへ緊急情報等を電子メールで提供するメール配信サービスです。亀山市在住以外の方も登録できますので、市外から通勤、通学されている方もぜひご登録ください。

不審者情報などをメールでお知らせ

スマートフォンやパソコンで「かめやま・安心めーる」のサイトにアクセスして登録方法をご確認ください。

① スマートフォンやパソコンなどのSSL通信対応端末の方
<https://info.city.kameyama.mie.jp/>

② SSL通信非対応端末の方（①で表示できなかった方）
<http://info.city.kameyama.mie.jp/>

【問い合わせ先】 総務課 情報統計グループ ☎84-5032 E3

緊急情報	緊急を要する情報
防犯情報	亀山警察署(園児・児童生徒等被害防止ネットワーク)発表の防犯情報(不審者情報、詐欺事案ほか)亀山市教育委員会発表の子どもの安全情報
防災情報	亀山市災害対策本部発表の災害情報、避難情報
イベント情報	亀山市の催し物に関する情報
アンケート	市政に関する市民向けのアンケート調査
お知らせ	登録者向けのお知らせ
気象警報	亀山市を対象とした気象警報(【大雨・暴風・暴風雪・大雪】特別警報、【大雨・洪水・暴風・暴風雪・大雪】警報)※各種警報の発表と解除について、休日・夜間・早朝に関わらず気象庁からの発表毎に随時配信します。
地震情報	亀山市で震度4以上を観測した地震情報(震度4以上の余震も含む)
土砂災害警戒情報	亀山市を対象とした土砂災害警戒情報

児童虐待 虐待かな？と思ったら、すぐに相談しましょう。



虐待をみつけたり、「虐待かな？」と思ったら迷わず相談(通告)してください。虐待は「悪い人がする」のではなく、ちょっとした歯車の乱れから生じます。

子育てがづらくなったら、悪いことと思わずにすぐに相談しましょう。相談・通告は匿名でも可能です。また、秘密は守られます。相談・通告を受けた市、児童相談所では、虐待から子どもを守るとともに、子育てに悩む家庭を支援します。

- <相談・通告先>
- 全国共通ダイヤル ☎ 189 ※局番は必要ありません。
 - 鈴鹿児童相談所 ☎ 059-382-9794
 - 亀山市福祉事務所 ☎ 0595-83-2425

身体的虐待	殴る、蹴る、投げ落とす、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、溺れさせるなど
性的虐待	子どもへの性的行為、性的行為を見せる、ポルノグラフィの被写体にするなど
心理的虐待	言葉による脅し、無視、きょうだい間での差別的扱い、子どもの目の前で家族に対して暴力をふるうなど
ネグレクト(養育放棄)	家に閉じ込める、食事を与えない、ひどく不潔にする、自動車の中に放置する、病院に連れて行かないなど

オレンジリボン運動は、「子ども虐待のない社会の実現」を目指す市民運動です。オレンジリボンは、そのシンボルマークであり、オレンジ色は子どもたちの明るい未来を表しています。

乳幼児期に気をつけたいこと

●誤飲に注意！

お子さんが「はいはい」や「伝い歩き」をするようになると、手に触れたものを何でも口に入れるようになります。タバコや蚊取りマット、ホウ酸団子、電池、薬品、洗剤などは、子どもの手の届く所や目につく所におかないようにしましょう。

■大阪中毒110番(365日 24時間対応)
072-727-2499(提供料無料)

■タバコ専用電話(365日 24時間対応)
072-726-9922(テープによる情報提供、提供料無料)



●乳幼児突然死症候群(SIDS)

それまで元気だった赤ちゃんが、事故や窒息ではなく眠っている間に突然死亡してしまう病気です。SIDSの原因はまだわかっていませんが、生後2か月から6か月に多いとされています。必要以上に不安に思う必要はありませんが、予防策に気をつけながら、日頃の子育てを再認識していただき、あとはおらかな気持ちで子育てをしましょう。

- 予防策
- うつぶせ寝は避ける
 - たばこはやめる
 - できるだけ母乳で育てる

●乳幼児揺さぶられ症候群(SBS)

「たかい、たかい」を急激に繰り返したり、座らせた赤ちゃんの頭を前後に激しく揺さぶったりすると脳の障がいを起こすことがあります。赤ちゃんをあやす時は、ゆっくりとやさしくあやすことを心がけましょう。